



ひびけ念佛の声 とどけこの祈り

東日本大震災によせて

融通念佛宗管長 倍巖良舜



平成二十三年三月十一日午後二時四十六分、未曾有の大地震が三陸沖に発生し、予想を超えた大津波が東日本太平洋岸を襲いました。六月二十日現在（内閣府発表）死

亡された方、一万五千四百六十七名。行方不明の方、今なお七千四百八十二名。避難生活をされている方、行方不明の方合わせて二万二千九

百四十九名です。数字というものは冷酷に事実を告げるだけであります、家族にとつてはかけがえのない、大事な大事な命です。

四月には小学一年生になるはずの娘を亡くされたお母さんが瓦礫の中から娘さんの遺品を探しておられる姿がテレビにうつし出されました。が、どんなに無念で悲しいことだろうと胸をしみつけられる思いでした。更に今回は原発事故という人災が深刻な事態を引き起こしています。日本で今まで大きな原発事故がなかつたのは全く運がよかつただけだと云われています。原発の危険性は人間の管理能力をはるかに越えているのです。科学万能ではない事がよく分かります。計算上安全とされていても百パーセント安全はあり得ないのです。

この震災でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。又、一日も早い復興を祈願しております。

さて「神仮靈場会」という伊勢神宮から比叡山に至る近畿二府四県の五〇の社寺で構成されてい



る会があります。この神仮靈場会の主催により、六月九日奈良市の華嚴宗大本山東大寺 大仏殿及び手向山八幡宮に於いて、神官・僧侶約二百名によつて「東日本大震災慰靈追悼復興祈願会」が行われました。大仏さま（毘盧遮那佛）の体内にしみこむような『般若心經』や『のりと』の声は無念の死をとげられた方々の追善菩提の為に、又避難されている方々へは復興力の一助になつた事と思つております。

総本山大念佛寺では、「ひびけ念佛の声 とどけこの祈り」のスローガンのもとに、日々の三時（朝・昼・夕）勤行及び万部等の法要行事で震災による犠牲者の追善供養と復興祈願の回向をしております。又、参詣の方々が合掌してお念仏をして頂けるように本堂内に靈壇を祀つております。『南無阿弥陀仏』と唱えるお念仏の功德は、亡き人の『神』を必ず安らぎの世界に導いてくださるとともに、諸仏・諸菩薩・諸天善神の御守護も頂けます。皆様共々私たちが出来る毎日の支援として、東日本大地震で犠牲になられた多くの人たちと、その家族の悲しみと痛みをわがものとして受けとめ、亡き人のご冥福と一日も早い復興を祈願し、お念仏を唱えましょう。

開宗900年記念 大法要 大通上人300回御遠忌

平成27年5月1日～5月7日

統施餓鬼のこころ

融通念佛宗務総長 吉村暉英

仏事と供養

法会、法要、法事など仏教儀式を総称して「仏事」と呼び習わしています。本堂・諸堂・庫裏等の落慶式、住職が入寺する晋山式、仮壇やお墓の開眼式、葬式、中陰忌、年忌その他、彼岸、施餓鬼、十夜等の仏教の年中行事に至るまで、およそ仏教に関係あるすべての行事を仏事といっています。



すこと。また祖先の靈に物を供えで回向すること。

三、仏に礼拝すること

燈明・香・花などをささげること。

初期仏教教団では修行僧に衣服、飲食、臥具、薬湯（薬草など煮出した湯）を施すことが四事供養といつて尊ばれました。後には塔廟、仏像、房舎（家屋）、土地なども施与されるようになり、僧団の生活を支えました。

供養物の種類、供養の方法、供養の対象についても様々な分類が行われ、三種供養、五種供養、十種供養などが各種經典に説かれています。



供養は物が中心になりますが、精神的な面も強調されています。そのため恭敬供養（つしみ敬うこと）、讚歎供養（仏徳をほめたること）、礼拝供養（敬いをもつて伏し拝むこと）などが説かれています。

塔婆回向は亡き人の靈魂の宿るところ、または亡き人を象徴するものとして信仰されてきた古い歴史があります。

塔婆回向は単に塔ともいい、また率

めに建立されたものですが、後には靈域を遠隔地からでもよく見えるようにした、高い建造物です。五重塔、三重塔、多宝塔などがよく知られています。

しかし、ここにいう塔婆は細長い板、または柱の上部を塔の形に彫作したもので、角柱形のものを角塔婆といい、墓標に多く使われます。

板製のものを板塔婆といいますが、さらにこれを小さく簡略化したもの

を経木といいます。

もちろんこれも塔婆の一種です。

施餓鬼に限らず仏事における追善供養で塔婆回向が行われます。

塔や廟が亡き人の靈魂の宿るところ、または亡き人を象徴するものとして信仰されてきた古い歴史があります。

塔婆回向は亡くなられたあと、

仏弟子たちは追慕の情ひとしお禁

じ難く、そのご遺骨を分けていた

だき、丁重に埋葬し、はるか遠方

からでも礼拝できるように、高い

塔を建てその表示としました。こ

れが後世、亡き人をいつまでも偲び、

総じて供養とは、限りない敬いと感謝を捧げ尽くすことといえるで

しょう。

仮壇にお茶湯やお仏飯を供えるのも供養です。しかしその心は敬いと感謝の思いに溢れていてこそ

塔婆回向は、まさに造塔供養そのものです。

六道輪廻

佛教には、古くから六道輪廻の思想があります。現世において、日常の身体と言葉と心（身口意）のはたらきの三つから生じる行為によって、

来世には、地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上の六道の迷いの世界に生まれ、

尽ざることなく生死を繰り返すというも

のです。このうち地獄・餓鬼・畜生を三悪道または三悪趣といい、苦しみが最も激しい世界です。

地獄の恐ろしさについては、阿

含経など多くのお經と、俱舍論などの論部（經典を証したもの）に説かれていますが、最もよく知ら

れているのは源信僧都の往生要集

であります。

餓鬼道や畜生道の苦しみは、地獄の恐怖に比べるとはるかに軽い

とはいき世界であることに変わりありません。

三悪道に墮ちる条件

一、もの惜しみをして、与える

二、妬み心が強い

三、人をだまして自己の利益を

はかる

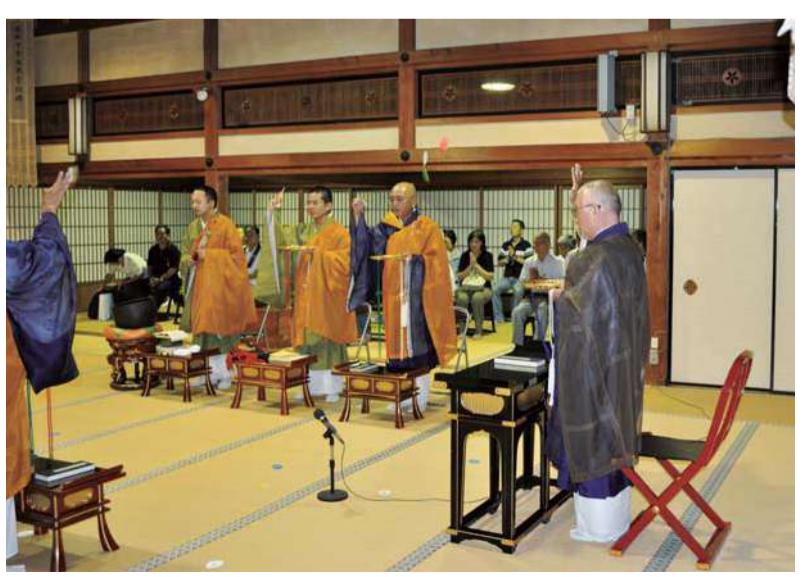
四、不足ばかりをいい、足りる

ことの喜びを知らない

五、他人をけなし自慢する

六、自己反省をせず、他を責める

七、因果の道理を信ぜず、平氣で悪を行ふ



二、供え、さしむけること
仏法僧の三宝に、身・口・意の三業を清浄にして物を供えめぐらること

すこと。
仮壇にお茶湯やお仏飯を供えるのも供養です。しかしその心は敬いと感謝の思いに溢れていてこそ

塔婆回向
塔婆は単に塔ともいい、また率

都婆ともいいます。元來、仏舍利（お釈迦さまの遺骨）を納めるた



仏法興隆 花まつり千僧法要 東日本大震災 復興祈願

五年間で
五千五百菩薩来迎!
感謝!感激!感動!



恒例となりました『仏法興隆花まつり千僧法要』が今年も四月二十六日、東大寺大仏殿に於いて厳修されました。

この法要は昭和六十三年の千僧法要以来、仏法の興隆と世界平和を祈願し、毎年「青年仏教徒の日」である四月二十六日に全国の青年僧侶が奈良に集い執り行われています。

今年の法要は先の東日本大震災の復興祈願法要にしたいという全日本仏教青年会の思いから、被災地を含め全国から宗派を超えた青年僧侶が参加し、融通念佛宗青年会からも二十六名が参加致しました。

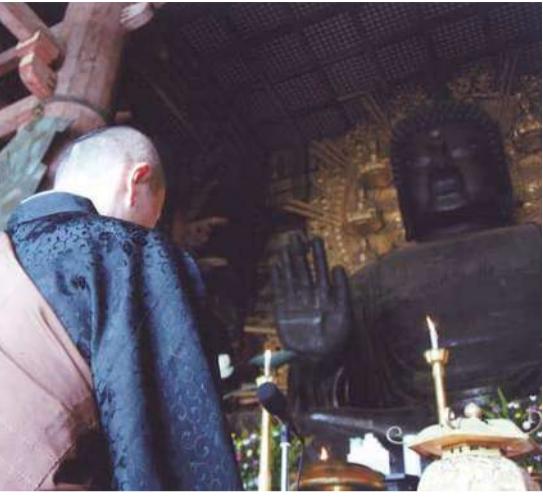
また今回の法要では各宗派がそれぞれの特色を生かして、法要の一部を担当する新しい試みも行われ、融通念佛宗青年会も本宗の特色である声明をお唱えする機会を頂きました。

今日は震災で被害にあわれた方々の復興祈願という意味で、「夕時歎佛」の一節と『日課淨業』をお唱えしました。

莊嚴な大仏殿内に響く声明と鉢の音と共にお念仏をお唱えし、良忍上人から九百年余り続く融通声明の偉しさ、ありがたさを体感すると共に、被災地復興を参加者一同祈念しました。

法要終了後は東大寺執事長をはじめ、各宗派からも融通声明へのお褒めの言葉と「是非来年度も声明を大仏殿で」とのお言葉も頂きました。また天台宗の声明師の方からは「合同で声明研鑽の機会を持ちたい」とのお話も頂きました。

（光の中に現れ給う化仏は無数で、化菩薩の数もまた限りが無い、四十八大願をもつて衆生を済度し、あらゆる人々を全て悟りの岸に到らせ給うのである）



今回わざかな時間ではありますましたが、大仏殿に於いて

（全日本仏教青年会 副理事長）
〔大林寺住職 伊藤 宗純〕

融通念佛宗青年会だより

つて執り行いました。

赤ちゃんから九十歳代の方まで千百二十一名の皆様が塗り絵を楽しみ、「ねがいごと」を真剣な眼差しで書いて頂けたことに深く感謝申し上げます。

私が偶然描いたイラストから端を発したこの塗り絵の催しも、多くの方の御協力を得て今年で五年目を迎え、のべ五千五百名を超える方々の大切な色とりどりの菩薩様をお預かりさせて頂きました。



展示会場では、小さなお子さんがやっと見つけた自分の塗り絵をお婆ちゃんに笑顔いっぱい見せている姿や、ただ一心に塗り絵をして恥ずかし気に提出していただけました。

今年も万部おねり期間中、休憩所にて『ぼさつさまぬりえ』を展示了。

また五月七日には「ねがいごと」成就祈願の法要を青年会僧侶によりて融通念佛宗の声明やお念佛がお唱えされることは、再興大通上人以来の事のようで、この法要に参加させて頂けた法悦に、心より感謝致します。

また「ねがいごと」の多くが自らの事ではなく、皆の幸せを願う時でありました。

また「ねがいごと」の多くが自らの微笑ましい光景は、何事にもかえることの出来ない嬉しいひと時でありました。

また「ねがいごと」の多くが自らの事ではなく、皆の幸せを願う時でありました。

つきましては、この多数の尊い

お気持ちを被災地に届けるべく、吉村・辻救援委員と私の三名にて

千七百七十円となりました。本当に有り難うございました。

つきましては、この多数の尊い

お気持ちを被災地に届けるべく、吉村・辻救援委員と私の三名にて

千七百七十円となりました。本当に有り難うございました。

つきましては、この多数の尊い

お気持ちを被災地に届けるべく、吉村・辻救援委員と私の三名にて

千七百七十円となりました。本当に有り難うございました。

つきましては、この多数の尊い

お気持ちを被災地に届けるべく、吉村・辻救援委員と私の三名にて

千七百七十円となりました。本当に有り難うございました。

第九教区教化活動

●テーマ 今に生きる仏のこころ

●とき 平成二十三年十月二十七日（木）午後一時～三時半
●ところ 奈良県生駒市上町はばたきホール

日常、私たちがその生活の中に忘れてしまっているものは何なのか、時代と共に伝えられ、引き継がれ、息づいているものは何なのかを問い合わせて、舞台をコラボレーションはすべて字幕入りです。ナレーションは是非ご覧下さい。

（第九教区教化活動実行委員会）

（第九教区教化活動実行委員会



八月十六日
万灯会

平成二十一年十月から始まつた仏教講座もこの平成二十三年九月で二十三回目を迎えます。一般の方を対象に仏教の基礎や融通念佛宗の教え、特色等を解り易く丁寧に講議しており、大変好評を頂いております。受講料は無料で、どなた様でもいつからでも受講出来ます。開催日時は毎月第二水曜日午後二時から午後四時三十分まで（但し八月は休講）。参加申込も不要です。皆様のご来場をお待ちしております。



家内安全 開運厄除
良縁成就 身体堅固
商売繁盛 健康長寿
授子宝 学業成就
安産祈願 病氣平癒
入試合格 心願成就
進学勵学 交通安全
先祖代々追善菩提

祈願文一例

八月十六日午後七時、法界施餓鬼会開始と共に本堂正面に於きまして皆様に勧進致しました万灯会口一ソクに明かりを灯します。



話せば心も
軽くなる

大阪仏教テレホン相談室

仏事相談、信仰相談、その他あらゆる人生
相談を十宗派の僧侶がお受けします。

月曜日：日蓮宗

火曜日：淨土宗・融通念佛宗

水曜日：淨土真宗本願寺派・真宗大谷派

木曜日：天台宗・真言宗

金曜日：臨済宗・曹洞宗・黃檗宗

(月曜日～金曜日　一月十四日～
十二月二十四日(八月休)

〇六(六一四五)五一一〇
でんわ
午後二時～五時迄

○九月十六日 午後一時
法主猊下の身体堅固のお加持が
参詣者一人一人に授けられます。
その後御札授与。

○秋季彼岸会 九月二十三日

○亀鉢まつり

十月十五日 午前十時
本山に伝わる亀鉢をお祀りする
法要の後、融通教会会員による
詠讃歌舞奉納、「亀鉢由来和讃」
等を詠唱します。

○胎内仏納骨法要
十一月三日 午後一時・三時

大念佛寺から毎年大和地方に御本尊の天得如来の画軸を奉持し、鉢を叩きながら末寺と檀家の家々を回り、御祈祷と先祖供養を行ないます。

元祖聖応大師の念仏勧進の姿を今に伝える行事です。

○融通念佛会

九月十六日 午前十一時
ご一緒にお念佛を称えましょう。

十二月三十一日 午後十一時
（鐘撞き、ぜんざい施与）

◎定例布教

毎月二十六日、午後一時三十分

★写経のご案内

毎月二十六日、午前九時三十分
より午後三時まで、白雲閣にて
写経（一巻千円）を行つております

本堂に於いて布教、詠讚歌舞奉納等があります。

